



Future from Asia

Back to the

アジアの視座から地域建築の未来を照らす

(社)日本建築学会西国支部 建築文化週間事業 市民参加型シンポジウム

2010年10月2日[土] 13:00-18:00 徳島県立21世紀館イベントホール

徳島市八万町向香山 文化の森総合公園内

■定員:300名 ■参加費:無料



←1 Photo: Shinkenchiku-sha

■基調講演

建築評論家/工学博士・布野修司氏

「今アジアは面白い。危機の時代に想像力を拡大させる。」

■基調報告

建築家・末吉栄三氏 「アジアのなかの沖縄の試み」

建築家・山本長水氏 「高知から発する建築資源」

地域の様々な仕事から 「四国のアジア的可能性」

■パネルディスカッション(会場参加型)

「アジアの視座から地域を捉え、建築を見直してみよう」

Back to the Future from Asia

アジアの視座から地域建築の未来を照らす

■主催: (社)日本建築学会四国支部・徳島支所
 ■協賛: (社)徳島県建築士会、(社)徳島県建築士事務所協会、(社)日本建築家協会四国支部徳島地域会
 ◎お問い合わせ: (社)日本建築学会四国支部徳島支所事務局 <http://aijsctokushima.blog68.fc2.com/>
 Tel: 088-665-9502 / Tel: 088-642-7257 (新居建築研究所)



地域に根ざした豊かな表現を求め、四国の建築の可能性を探る

世界がグローバル化する中で、四国では産業の空洞化や人口の高齢化、減少化をもたらし、過疎化した地域が増え、森林や田畑等の維持もできなくなりつつある。近代化を経て暮らしの利便性や快適性を獲得したが、地域を取り巻く人との繋がりが、産業や自然環境が豊かになつたとはいえない。地域の住環境や建築的環境の多くは、地域が育んできた素材や技術、自然環境の関係性が弱くなり、経済性だけが優位に立つた工業二次製品で覆われている。地域性は画一化し、未来に継承する豊かな文化的建築環境をつくってきたとはいえない。

これまで西洋近代世界や中央集権的な発展モデルによる近代化の中で軽視されてきたことを、地域に根ざしながら普遍性に通じるような建築的・計画的視点として拾い上げ、新たな価値をつくり出していくことを試みたい。気候・風土が繋がり、古くから人が行き交いわが国に影響を与え、文化の基層をつくってきた多様なアジアを基軸に日本の地域を考えてみる。アジアの発展が著しい今日、内向きの地域や伝統観に陥ることなく、多様なアジアの孤がりをもちつた視野で、普遍的テーマをもったアジアの課題まで広げ、地域を見つめなおしてみようことを提案したい。

広域にわたるアジアの多様性の中で、以下の三点を現代建築の課題とし、未来に語るべき遺産とそれを継承する新しい試みや思考を探り、建築がもつ意識を広げる。あわせて、地域で取り組む建築家の仕事の中で、アジアの試みを探り問題提議をし、議論の俎上に載せたい。

- 1 地域の継承すべきコミュニティ世界と建築
- 2 歴史的遺産の継承と空間・時間の連続性
- 3 場所や自然の持続性と地域の生態系に基づく建築システム



■布野修司 Shuji Funo

建築評論家・工学博士。1949年島根県生まれ。
 東京大学大学院博士課程修了後、東京大学助手、東洋大学助教授、
 京都大学助教授を経て、2005年より滋賀県立大学環境科学部教授に就任。
 日本建築学会建築計画委員会委員長、英文論文集委員長。
 元『建築雑誌』編集委員長。
 日本建築学会賞論文賞(1991年)、日本都市計画学会論文賞(2006年)。
 著書:『戦後建築の終焉』(れんが書房新社、1995年)、
 『裸の建築家 タウンアーキテクト論序説』(建築資料研究社、2000年)、
 『豊茶屋都市』(京都大学学術出版会、2006年)、
 『現代建築:ポスト・モダニズムを超えて』(編著、新曜社、1993年)、
 『近代世界システムと植民都市』(編著、京都大学学術出版会、2005年)、
 『韓国近代都市景観の形成-日本人移住漁村と鉄道町-』
 (共著、京都大学学術出版会、2010年)他。



■末吉栄三 Eizo Sueyoshi

建築家。1945年底尾島県生まれ。1967年神戸大学工学部建築学科卒業、
 1968-78年関西大学助手。1979年末吉栄三計画研究室設立。
 1984年より那覇市文化財調査審議会、建築審査会、
 都市景観審議会委員等を務める。
 作品受賞:
 那覇市立石嶺中学校 文教施設協会賞、BCS賞、公共建築賞
 那覇市立小祿南小学校 公立学校優良施設表彰・文部大臣奨励賞
 集合住宅「イレヴン」大阪建築コンクール・大阪府知事表彰



■山本長水 Hisami Yamamoto

建築家。1936年高知県生まれ。1959年日本大学工学部(理現工学部)
 建築学科卒業。
 1966年より一級建築士事務所 山本長水建築設計事務所 主宰。
 2001年より高知工科大客員教授。
 作品受賞:
 (社)日本建築学会 作品選奨
 (社)日本建築学会賞(作品部門)
 高知県文化賞 他
 著書:『近代建築ガイドブック西日本編』共著(鹿島出版会、1984年)、
 『土佐派の家』共著(ダイヤモンド社、1995年)、
 『総覧日本の建築-第8巻 中国・四国』共著(日本建築学会、1997年)



■新居照和 Terukazu Nii (コーディネーター)

建築家。日本建築学会四国支部徳島支所長。
 1954年徳島県生まれ。1979年関西大学大学院修士課程修了。
 7年間インド留学、建築家B.V.ドーン、画家サグラのもとで学ぶ。
 末吉栄三計画研究室を経て、1991年新居建築研究所共同開設。
 著書:
 『ル・コルビュジェ-建築・家具・人間・旅の全記録』共著
 (エクスナレッジ、2002年)
 『再生名住宅-時を超えるデザインII』(鹿島出版会、2009年)掲載他。